

中間支援活動助成(基本)事業 実績報告

団体名	(特非)市民事務局かわにし	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 三井 ハルコ
事業名	「NPO大学・マナビ塾」2024			

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/団体数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R5 実績	14件(16回)	3件	10人(8団体)	3件	-
R6 計画	10件程度	3件程度	20人(10団体)	3件程度	-
R6 実績	10件(10回)	3件	8人(7団体)	3件	-

< 効果と成果 >

中間支援スタッフの支援力アップ < 各種相談に携わる中間支援スタッフの研修 >

- ・昨今、中間支援組織が必要かどうかを議論されることが増えているようだが、協働や共創を求められる時代だからこそ、その重要性が増していくのではないだろうか。本事業は、中間支援組織で相談・支援業務に携わるスタッフのスキルアップが各自のOJTに委ねられている現状の改善にも寄与している。
- ・「公益の中間組織」として、市民活動団体への適切な支援で市民社会の裾野を広げるだけでなく、新たな価値創造を継続していくためにも「共生につながる支援力の充実」は不可欠で、本事業はその一助となっている。

NPOなどのマネジメント講座としてオーソライズ < 定型的な支援方法継承の必要性 >

- ・官民協働で実施してきた「NPO大学」のような研修は類が無く、今後も時代に即応しながら恒常的・継続的な開催が望まれる。「CS神戸」からバトンを受けて以降も合わせると受講延べ人数は1,000人を越え、県内NPO人材の育成に確実に寄与していると言える。また「NPO大学・マナビ塾」は、自団体の「定期健診」の機会としても活用でき、自主自律的な組織マネジメントにも有用である。

< 今後の展望 >

- ・認定NPO法人CS神戸が、兵庫県やひょうごボランティアプラザと協働で実施してきた「NPO大学」事業を、2015年からバトンを受け継いだ。今回で10回目となり、そろそろ当法人の独自色を出してみたいとのことで、昨年度からオンライン併用で「基礎編」と「実践編」で実施している。これが好評で、今後は特に「基礎編」での「講義」を「コモンズ(共有財)」として蓄積していきたい。
- ・全県事業として、「基礎編」はオンラインでどこからでも受講ができ、「実践編」は効果検証の視点から同地域である程度、継続的に実施することで成果を上げることを考えている。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費等	31,498
合 計	531,498

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	謝金 (講師・協力団体)	141,229	141,229
	人件費 (プロジェクト)	205,900	185,660
	広報費	23,100	23,100
	その他 (旅費交通費 (講師・協力団体・スタッフ) 等)	11,760	11,760
	小 計	381,989	361,749
	間接経費 (一般管理費)	149,509	138,251
	合 計	531,498	500,000